

■ 6 受講者によるテーマ別研修評価（各テーマ修了時）

受講者によるテーマ別評価を、各テーマの修了時に「テーマ別研修評価調査」により実施した。

テーマ別研修評価調査および調査票

目的	各テーマの内容、教授方法、受講者の理解度等を把握し、各テーマの内容や教授方法等に関する改善につなげる
調査対象	研修受講者本人、有効回答数はテーマにより異なる
調査時期	全てのテーマについて、テーマ終了時に実施（2018.11～2019.5）
調査方法	自記式、会場で配布・提出

平成 30 年度 介護職員チームリーダー養成研修 科目終了時アンケート

科目番号： _____ 受講番号： _____ 今後の研修の参考とためご協力をお願いします。

【1】 自分自身に不足している知識や技術が何かを知ることができましたか（自己覚知）
5：できた 4：まあできた 3：普通 2：あまりできなかった 1：できなかった

◆具体的に何が不足していると考えましたか、どうしてそのように考えましたか

【2】 自己学習（自宅学習）は効果的に進めることができましたか（主体的学び）
5：できた 4：まあできた 3：普通 2：あまりできなかった 1：できなかった

◆自己学習において難しかったこと、困ったこと、あるいは効果的だったことは何ですか

【3】 自己学習（研修中の先生の質問に対する思考）は積極的でしたか（主体的学び）
5：できた 4：まあできた 3：普通 2：あまりできなかった 1：できなかった

◆自己学習において難しかったこと、困ったこと、あるいは効果的だったことは何ですか

【4】 チームリーダー養成研修として、あなたはこの科目で期待していた学びを得ることができましたか
5：できた 4：まあできた 3：普通 2：あまりできなかった 1：できなかった

◆具体的に満足なところ、あるいは不満なところはどのようなところですか

【5】 この科目であなたが最も学んだことは何ですか

◆具体的に

【6】 この科目であなたが現場で活かせることは何ですか

◆具体的に

【7】 この科目の研修で印象に残ったキーワードを三つ記入してください

【8】 その他、意見や要望等がありましたら、記入してください

(1) 受講者によるテーマ別研修評価の考察およびまとめ

【研修の評価（全体）】

以下の①～④の4項目について、テーマごとに5段階での評価を実施した。

-
- ①自分自身に不足している知識や技術が何かを知ることができましたか【自己覚知】
 - ②自己学習は効果的に進めることができましたか【主体的学び】
 - ③グループでの話し合いでは積極的な発言ができましたか【積極的参加】
 - ④あなたが期待していた学びを得ることができましたか【知識の修得】
-

全てのテーマを総合した全体の平均は、高い順に④【知識の修得】3.92、①【自己覚知】3.86、③【積極的参加】3.33、②【主体的学び】3.22であった（21～24ページ）。

最も高い平均のテーマは、以下のとおりである。

- ①【自己覚知】 1-①尊厳の保持 4.32
- ②【主体的学び】 8-3生産性の向上 3.52
- ③【積極的参加】 6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護 3.70
- ④【知識の修得】 6-1難病の理解と介護 4.30

【1 尊厳の保持と自立支援】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／③【積極的参加】／④【知識の修得】
- 受講者があげた学びのキーワード（90、95ページ）：尊厳、人間性、自律、自己決定、あるべき姿、自立支援 など
- 自由記載（86ページ～）：“わかっているようで、わかっていなかった”という自己覚知をし、介護の本質、リーダーが持つべき意識や視点などを再認識する機会を得ていた。

【2 生活援助】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】
- 受講者があげた学びのキーワード（101ページ）：生活援助、ICF、評価、科学的根拠、できる活動・している活動 など
- 自由記載（96ページ～）：ICFに対する知識不足・勉強不足の認識がみられ、アセスメントや計画作成について学びなおしをする必要性に気づいた受講者が多数いた。

【3 身体介護】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／③【積極的参加】
- 受講者があげた学びのキーワード（106ページ）：根拠、介護過程、思考過程、仮性球麻痺、視点、アセスメント、本人の思い など

- 自由記載（102 ページ～）：根拠に基づく介護、介護過程の重要性などについて、受講者が認識を深めるとともに、リーダーだからこそ、これらの知識や技術の向上を図らなくてはならないという視点に気づく機会となっていた。

【4 障害者の理解と支援】

- 評価が全体を上回った項目：③【積極的参加】
- 受講者があげた学びのキーワード（112 ページ）：ICF、ICIDH、優生保護法、パターンリズム、環境因子 など
- 自由記載（108 ページ～）：介護保険事業所に所属する受講者であり、障害というテーマについて馴染みがない、学びの機会がなかった受講者が多くいた。ICFとICIDHの知識、障害者をとりまく社会、障害とどう向き合っていくかなどを考える機会を得ていた。

【5 認知症の理解と介護】

- 評価が全体を上回った項目：②【主体的学び】
- 受講者があげた学びのキーワード（117 ページ）：中核症状、根拠、伝える、五感、分析、本人の思い、語りかけるような説明 など
- 自由記載（113 ページ～）：認知症に対する理解を深化させ、根拠に基づく介護について学びなおしをなされた。また、説明をする力、プレゼンテーションをする力の不足をあげる受講者が多くいた。これらの力は、リーダーとして職員等を指導するにあたり必要な力であることを、受講者が認識していた。

【6-1 難病の理解と介護】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／②【主体的学び】／③【積極的参加】／④【知識の修得】
- 受講者があげた学びのキーワード（123 ページ）：本人主体、普通、難病、しないケア、ICF、心は自由に など
- 自由記載（118 ページ～）：難病の知識が得られたこと、「難病」という言葉から得られる先入観（ネガティブなイメージ）の払しょくが必要であること、本人主体の介護が必要であることをあげる受講者が多くいた。

【6-2 医療的ケアを必要とする利用者の介護】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／③【積極的参加】／④【知識の修得】
- 受講者があげた学びのキーワード（128 ページ）：医療的ケア、医療、本人主体、実験の実証、プレゼンテーション など
- 自由記載（124 ページ～）：医療的ケアとは何か・その範囲について学びなおしをするとともに、新たな知識を得ることで職場で生かせるという意見が多くあげられた。説明できることの必要性の認識を深める機会となっていた。

【6-3 終末期の理解と介護】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／③【積極的参加】／④【知識の修得】

- 受講者があげた学びのキーワード（134 ページ）：ICF、感情、死、スピリチュアルペイン、遺族ケア など
- 自由記載（129 ページ～）：本人や家族の深い思い、終末期の介護計画のあり方を学び、ICFの視点で誰でもわかる支援方針を文章化することの困難さを受講者の多くが感じる機会となった。

【6-4 「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／②【主体的学び】／③【積極的参加】／④【知識の修得】
- 受講者があげた学びのキーワード（139 ページ）：薬、清潔、11 項目、口腔ケア、褥瘡 など
- 自由記載（135 ページ～）：医療行為、薬（服薬）、口腔ケア、排泄（自己導尿）、11 項目などの理解を進め、リーダーとして「原則として医行為でないと考えられる行為」を理解する、職場でこれを指導・マネジメントすることの重要性、リスクの把握と管理を学んだ。

【6-5 医療を継続する利用者の理解と介護（介護過程の展開）】

- 最も高かった項目：④【知識の修得】
- 受講者があげた学びのキーワード（144 ページ）：5W1H、介護過程、HOW／WHY、利用者主体、具体性 など
- 自由記載（140 ページ～）：介護過程の展開の流れの中で、アセスメント、計画、評価の具体的方法を深めた。時間が足りないという受講者からの意見があげられていた。

【7 介護予防と生活リハビリ】

- 評価が全体を上回った項目：②【主体的学び】
- 受講者があげた学びのキーワード（149 ページ）：回想法、限界、本人主体、介護予防、生活リハビリ など
- 自由記載（145 ページ～）：生活リハビリや介護予防の大切さ、取り組み、効果などを学んだ。利用者の思いを踏まえ、これまでの自施設での業務を振り返り、計画の見直し、これからどのように取り組むべきかを考える機会となった。

【8-1 介護の質の向上・指導】

- 評価が全体を上回った項目：①【自己覚知】／②【主体的学び】／③【積極的参加】／④【知識の修得】
- 受講者があげた学びのキーワード（154 ページ）：PDCA、自立支援、おむつゼロ、理念、ケアの統一 など
- 自由記載（150 ページ～）：業務にPDCAを活用すること、ケアの統一とは何か、おむつはずしなどを、リーダーの立場を意識して学んだ。サービス管理（マネジメント）に関する最初の授業であり、受講者のリーダーとして意識をさらに高める授業となった。

【8-2 コンプライアンス・リスクマネジメント】

- 評価が全体を上回った項目：②【主体的学び】／③【積極的参加】
- 受講者があげた学びのキーワード（160 ページ）：リスクマネジメント、BCP、コンプライアンス、分析、KYT など
- 自由記載（155 ページ～）：コンプライアンス・リスクマネジメントについてリーダーを意識して学ぶ機会となった。分析、防止に向けた取り組み、発生時の対応などの必要性和重要性を認識できた。

【8-3 生産性の向上】

- 評価が全体を上回った項目：②【主体的学び】
- 受講者があげた学びのキーワード（166 ページ）：生産性の向上、ジョブディスクリプション、職務設計、権限、職務の拡大と充実 など
- 自由記載（161 ページ～）：介護における生産性の向上に必要な視点、取り組み、その結果としての利用者や職員の満足度の向上に、リーダーとしてどのように取り組んでいくべきかの知識を学んだ。難しい内容であるが、全ての職場で生かせるという意識が生まれた。

【まとめと今後の課題】

受講者の満足度は総じて高く、本研修のねらいであった【自己覚知】、【主体的学び】、【積極的参加】、【知識の修得】について受講者には影響や効果を与える機会となったと考えられる。ただし、研修の核となる【主体的学び】については最も低い評価であり、今後の授業の組み立てや展開に課題が残された。

受講者がテーマごとに得た学びは、上記に記載した「受講者があげた学びのキーワード」に集約されている。共通して言えることは、介護の基本的な知識や技術の学びなおし、新しい知識の修得、リーダーとしての役割につながる内容があげられている。学び続けることの意義、リーダーに必要な知識と技術とマネジメント力、自分に足りないことの再認識が深められている。

課題としては、テキストがほしい、参考書や資料の紹介、課題が多すぎる、授業の時間が少ない（足りない）、授業のスピードがはやいなどが共通してあげられた。

受講者の研修評価については、85 ページ以降に意見が全掲載されているので、参考にされたい。

(2) 集計結果

①自己覚知：自分自身に不足している知識や技術が何かを知ることができましたか

	できな かった	あまり できな かった	普通	まあ できた	できた	無回答
●15科目の合計	2.5	29.7	41.2		23.9	
1-①尊厳の保持	16.1		35.5		48.4	
1-②自立支援		36.7	33.3		30.0	
2生活援助	9.7	12.9	38.7		25.8	
3身体介護		26.7	53.3		20.0	
4障害者の理解と介護	3.2	3.2	19.4	51.6		19.4
5認知症の理解と介護	3.3	3.3	40.0	40.0		13.3
6-1難病の理解と介護	13.3		50.0		36.7	
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護	17.2		58.6		24.1	
6-3終末期の理解と介護	3.4	31.0		37.9		27.6
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	20.7		58.6		20.7	
6-5医療を継続する利用者の理解と介護	6.9	6.9	48.3		24.1	6.9
7介護予防と生活リハビリ	3.6		53.6		32.1	10.7
8-1介護の質の向上・指導		44.8		24.1		31.0
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント		37.9		37.9		20.7
8-3生産性の向上	6.9		31.0	41.4		20.7

	できな かった	あまり できな かった	普通	まあ できた	できた	無回答	合計	平均
●15テーマの合計	4人	11人	132人	183人	106人	8人	444人	3.86
1-①尊厳の保持	0人	0人	5人	11人	15人	0人	31人	4.32
1-②自立支援	0人	0人	11人	10人	9人	0人	30人	3.93
2生活援助	0人	3人	4人	12人	8人	4人	31人	3.93
3身体介護	0人	0人	8人	16人	6人	0人	30人	3.93
4障害者の理解と介護	1人	1人	6人	16人	6人	1人	31人	3.83
5認知症の理解と介護	1人	1人	12人	12人	4人	0人	30人	3.57
6-1難病の理解と介護	0人	0人	4人	15人	11人	0人	30人	4.23
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護	0人	0人	5人	17人	7人	0人	29人	4.07
6-3終末期の理解と介護	0人	1人	9人	11人	8人	0人	29人	3.90
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	0人	0人	6人	17人	6人	0人	29人	4.00
6-5医療を継続する利用者の理解と介護（介護過程の展開）	2人	2人	14人	7人	2人	2人	29人	3.19
7介護予防と生活リハビリ	0人	1人	15人	9人	3人	0人	28人	3.50
8-1介護の質の向上・指導	0人	0人	13人	7人	9人	0人	29人	3.86
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント	0人	0人	11人	11人	6人	1人	29人	3.82
8-3生産性の向上	0人	2人	9人	12人	6人	0人	29人	3.76

※平均：できた=5～できなかつた=1で算出

②主体的学び：自己学習は効果的に進めることができましたか

	できな かった	あまりできな かった	普通	まあできた	できた	無回答
●15科目の合計	3.1	15.4	44.2		28.5	7.6
1-①尊厳の保持						
1-②自立支援	6.7	16.7	43.3		30.0	3.3
2生活援助		25.8	38.7		29.0	3.2
3身体介護	20.0		60.0		16.7	3.3
4障害者の理解と介護						
5認知症の理解と介護	3.3	10.0	46.7		36.7	3.3
6-1難病の理解と介護	16.7		40.0		33.3	10.0
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護		24.1	37.9		31.0	6.9
6-3終末期の理解と介護	3.4	13.8	44.8		34.5	3.4
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践		17.2	48.3		20.7	13.8
6-5医療を継続する利用者の理解と介護	13.8	20.7	44.8		10.3	3.4
7介護予防と生活リハビリ	3.6	10.7	35.7		28.6	17.9
8-1介護の質の向上・指導	6.9		62.1		24.1	6.9
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント	3.4	10.3	41.4		31.0	13.8
8-3生産性の向上	13.8		31.0		44.8	10.3

	できな かった	あまり できな かった	普通	まあ できた	できた	無回答	合計	平均
●15テーマの合計	12人	59人	169人	109人	29人	4人	382人	3.22
1-①尊厳の保持	-	-	-	-	-	-	-	-
1-②自立支援	2人	5人	13人	9人	1人	0人	30人	3.07
2生活援助	0人	8人	12人	9人	1人	1人	31人	3.10
3身体介護	0人	6人	18人	5人	1人	0人	30人	3.03
4障害者の理解と介護	-	-	-	-	-	-	-	-
5認知症の理解と介護	1人	3人	14人	11人	1人	0人	30人	3.27
6-1難病の理解と介護	0人	5人	12人	10人	3人	0人	30人	3.37
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護	0人	7人	11人	9人	2人	0人	29人	3.21
6-3終末期の理解と介護	1人	4人	13人	10人	1人	0人	29人	3.21
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	0人	5人	14人	6人	4人	0人	29人	3.31
6-5医療を継続する利用者の理解と介護（介護過程の展開）	4人	6人	13人	3人	1人	2人	29人	2.67
7介護予防と生活リハビリ	1人	3人	10人	8人	5人	1人	28人	3.48
8-1介護の質の向上・指導	2人	0人	18人	7人	2人	0人	29人	3.24
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント	1人	3人	12人	9人	4人	0人	29人	3.41
8-3生産性の向上	0人	4人	9人	13人	3人	0人	29人	3.52

※平均：できた=5～できなかつた=1で算出

③積極的参加：グループでの話し合いでは積極的な発言ができましたか

	できな かった	あまり できな かった	普通	まあ できた	できた	無回答
●15科目の合計	3.2	10.4	43.0	31.5	8.3	
1-①尊厳の保持	9.7	3.2	19.4	51.6	12.9	
1-②自立支援		33.3	30.0	23.3	10.0	
2生活援助	12.9	25.8	38.7	12.9	3.2	
3身体介護	3.3	40.0	40.0	13.3		
4障害者の理解と介護	9.7	9.7	22.6	41.9	9.7	
5認知症の理解と介護	6.7		70.0	16.7	3.3	
6-1難病の理解と介護		53.3	36.7	10.0		
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護		41.4	37.9	13.8		
6-3終末期の理解と介護	6.9	44.8	31.0	13.8		
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	3.4	51.7	37.9	3.4		
6-5医療を継続する利用者の理解と介護	6.9	20.7	55.2	10.3	3.4	
7介護予防と生活リハビリ	3.6	7.1	53.6	28.6	3.6	
8-1介護の質の向上・指導	10.3	37.9	37.9	10.3		
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント	3.4	58.6	27.6	6.9		
8-3生産性の向上	24.1	31.0	37.9	6.9		

	できな かった	あまり できな かった	普通	まあ できた	できた	無回答	合計	平均
●15テーマの合計	14人	46人	191人	140人	37人	16人	444人	3.33
1-①尊厳の保持	3人	1人	6人	16人	4人	1人	31人	3.57
1-②自立支援	0人	10人	9人	7人	3人	1人	30人	3.10
2生活援助	4人	8人	12人	4人	1人	2人	31人	2.66
3身体介護	0人	1人	12人	12人	4人	1人	30人	3.66
4障害者の理解と介護	3人	3人	7人	13人	3人	2人	31人	3.34
5認知症の理解と介護	0人	2人	21人	5人	1人	1人	30人	3.17
6-1難病の理解と介護	0人	0人	16人	11人	3人	0人	30人	3.57
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護	0人	0人	12人	11人	4人	2人	29人	3.70
6-3終末期の理解と介護	0人	2人	13人	9人	4人	1人	29人	3.54
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	1人	0人	15人	11人	1人	1人	29人	3.39
6-5医療を継続する利用者の理解と介護（介護過程の展開）	2人	6人	16人	3人	1人	1人	29人	2.82
7介護予防と生活リハビリ	1人	2人	15人	8人	1人	1人	28人	3.22
8-1介護の質の向上・指導	0人	3人	11人	11人	3人	1人	29人	3.50
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント	0人	1人	17人	8人	2人	1人	29人	3.39
8-3生産性の向上	0人	7人	9人	11人	2人	0人	29人	3.28

※平均：できた＝5～できなかつた＝1で算出

④知識の習得：あなたが期待していた学びを得ることができましたか

	できな かった	あまりできな かった	普通	まあできた	できた	無回答
●15科目の合計	3.8	24.1	44.6		24.8	
1-①尊厳の保持	16.1		41.9		41.9	
1-②自立支援	6.7	16.7	40.0		36.7	
2生活援助	6.5	22.6	45.2		25.8	
3身体介護	3.3	26.7	56.7		13.3	
4障害者の理解と介護	3.2	22.6	51.6		16.1	
5認知症の理解と介護	6.7	23.3	43.3		26.7	
6-1難病の理解と介護	10.0		50.0		40.0	
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護	3.4	13.8	44.8		37.9	
6-3終末期の理解と介護	6.9		62.1		20.7	
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	13.8		58.6		27.6	
6-5医療を継続する利用者の理解と介護	3.4	17.2	37.9	27.6	6.9	
7介護予防と生活リハビリ	3.6		57.1	25.0	14.3	
8-1介護の質の向上・指導		31.0	34.5	27.6		
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント		41.4	37.9	13.8		
8-3生産性の向上	6.9	24.1	48.3		20.7	

	できな かった	あまり できな かった	普通	まあ できた	できた	無回答	合計	平均
●15テーマの合計	1人	17人	107人	198人	110人	11人	444人	3.92
1-①尊厳の保持	0人	0人	5人	13人	13人	0人	31人	4.26
1-②自立支援	0人	2人	5人	12人	11人	0人	30人	4.07
2生活援助	0人	2人	7人	14人	8人	0人	31人	3.90
3身体介護	0人	1人	8人	17人	4人	0人	30人	3.80
4障害者の理解と介護	0人	1人	7人	16人	5人	2人	31人	3.86
5認知症の理解と介護	0人	2人	7人	13人	8人	0人	30人	3.90
6-1難病の理解と介護	0人	0人	3人	15人	12人	0人	30人	4.30
6-2医療的ケアを必要とする利用者の理解と介護	0人	1人	4人	13人	11人	0人	29人	4.17
6-3終末期の理解と介護	0人	0人	2人	18人	6人	3人	29人	4.15
6-4「原則として医行為でないと考えられる行為」の実践	0人	0人	4人	17人	8人	0人	29人	4.14
6-5医療を継続する利用者の理解と介護（介護過程の展開）	1人	5人	11人	8人	2人	2人	29人	3.19
7介護予防と生活リハビリ	0人	1人	16人	7人	4人	0人	28人	3.50
8-1介護の質の向上・指導	0人	0人	9人	10人	8人	2人	29人	3.96
8-2コンプライアンス・リスクマネジメント	0人	0人	12人	11人	4人	2人	29人	3.70
8-3生産性の向上	0人	2人	7人	14人	6人	0人	29人	3.83

※平均：できた = 5～できなかつた = 1で算出